

(案)

情報通信審議会 情報通信技術分科会 陸上無線通信委員会 (第 64 回)

議事概要【電子メールによる検討】

1 日時

令和3年4月8日(木) ～ 令和3年4月16日(金)

2 場所

電子メールを用いて検討

3 出席者(敬称略)

主 査：安藤 真

主査代理：竇迫 巖

委 員：森川 博之

専門委員：秋山 裕子、飯塚 留美、伊藤 数子、河野 隆二、児玉 俊介、
齋藤 一賢、田中 秀一、田丸 健三郎、土田 健一、日野岳 充、
藤井 威生、藤野 義之、本多 美雄、松尾 綾子、三谷 政昭、三次 仁、
吉田 貴容美

オブザーバ：豊嶋 守生

事務局（総務省）：総務省 移動通信課 第一技術係

総務省 基幹通信室 第一マイクロ通信係

総務省 電波環境課 電磁障害係

4 配布資料

| 資料番号 | 資料名 | 作成者 |
|-----------|------------------------------------|-----|
| 資料 64-1 | 陸上無線通信委員会（第 63 回）議事概要（案） | 事務局 |
| 資料 64-2-1 | 報告案件 小電力データ通信システム | 事務局 |
| 資料 64-2-2 | 報告案件 説明原稿（小電力データ通信システム） | 事務局 |
| 資料 64-3-1 | 無線 LAN システムの高度化利用に係る技術的条件の検討について | 事務局 |
| 資料 64-3-2 | 無線 LAN の高度化利用に係る技術的条件に関する検討の進め方（案） | 事務局 |

5 議事

- (1) 「小電力の無線システムの高度化に必要な技術的条件」のうち「無線 LAN システムの高度化利用に係る技術的条件」の検討開始について

資料 64-3-1 及び資料 64-3-2 に基づき、事務局より技術分科会で諮問された事項について、検討事項、スケジュールおよび検討体制が、説明され検討開始が確認された。主な質疑応答の概要は以下のとおり。

ア 児玉専門委員からの意見

6 GHz 帯への無線 LAN の周波数拡張における共用検討の対象システムとして、周波数再編アクションプラン (5.9GHz 帯) でも指摘されているように、DSRC を将来 5.9GHz 帯に移行するケース、あるいは海外同様 V2X 用に 5.9GHz 帯を割り当てるケースを想定し、隣接システムとしてのこれら DSRC あるいは V2X も加える方がいいのではないのでしょうか。

【事務局回答】

ご助言をありがとうございます。

6GHz 帯への無線 LAN の周波数拡張に係る技術的条件については、先行する欧米の動向を踏まえ検討することとしております。ご指摘を踏まえまして、本作業班において、検討対象周波数である 5925-7125MHz 帯と将来的に隣接する可能性のある V2X への影響等については、欧米等の検討状況を把握した上で、共用可能性について検討をさせていただきます。

イ 藤井専門委員からの意見

6GHz 帯の利用について、国際協調の意味でも重要な検討だと思っておりますので積極的に進めていただければと思います。

共用対象となる放送事業用システムはほかの周波数から移行を経て使っているものと思っておりますので、事業者には過度な負担にならないように留意しつつ有効に周波数使えるような方策があるとよいと思えました。特に FPU は移動を伴うと思っておりますので、しっかりとした検討が必要だと思っております。

【事務局回答】

本検討開始にご賛同いただきありがとうございます。

ご指摘を踏まえまして、既存の放送事業者の過度な負担にならないように配慮しつつ、また移動する番組中継システム (FPU) との共用検討にあたっては慎重かつ丁寧な議論を重ねて参りたいと考えております。

(以 上)